

総合計画／実施計画書 兼事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
4 - 1 - 1	消費者ニーズに対応した農林産物を創出する
重点施策ID	重点施策名
4 - 1 - 1 - 4	資源循環型農業の推進

2. 事業名等	
事業名	畜産環境整備事業
事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名	
事業主体	市
実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務
事業種別	④ ①直営 ②指定管理 ③委託 ④その他 (事業費補助)
実施期間	平成 18 年度 ～ 平成 22 年度
根拠法規	豊後大野市畜産振興補助金交付要綱
各種の計画への反映 (=根拠計画)	豊後大野市農業振興計画
事業ID	

3. 事業の内容等	
事業の背景	環境保全型農業を推進する中で土地の生産性を維持向上させるため、家畜ふん堆肥を有効に利用した環境と調和のとれた農業生産を推進する。
補助事業	名称 補助率 国 県 その他 1/ 1/ 1/
起債の種類	① ② ③

事業の目的及び対象	事業概要
【目的】 畜産経営に伴い発生する悪臭等の防止のため環境の整備を図る事を目的とする。	脱臭装置の設置及び脱臭剤の購入に要する経費について助成する。 【要件】悪臭、害虫等の防止のために十分な効果が認められるものであること 【対象】家畜排せつ物法対象農家 牛10頭以上 豚100頭以上 鶏2,000羽以上 脱臭剤については1年を限度とする 【補助率】補助対象経費の3分の1又は1,000千円のいずれか低い額の範囲内で予算で定める額
【対象】 畜産農家	前年度の評価 評価結果に基づき見直した内容
	E 維持

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)							
財源内訳	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		2,089	924	594	1,000	1,000
計		2,089	924	594	1,000	1,000	
決算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,625	691	556		
計		1,625	691	556			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】 消臭剤購入4件 脱臭装置 1件	【実績】 消臭剤購入4件	【実績】 消臭剤購入3件	事業者と地域住民の相互理解を深める対策も必要である。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値									
活動指標	脱臭装置の設置及び脱臭剤の購入に対する助成額								
効率指標	-								
成果指標	苦情件数								
	単位 件								
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考		
種別			件数	件数	件数	件数			
目標値			5	0	0	0			
実績値			5	3					
達成率									
備考									

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	社会的に環境に対する認識が高まっている中で、畜産を振興して行くには、環境保全型農業を推進することが不可欠であるため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	民間による補助が行われておらず、行政が実施主体となる必要がある。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	消臭剤による対策のほかには代替手段が少ない。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	事業者の迅速な取組みが促進でき、環境対策にかなり高い効果があるため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	畜産における環境対策は、今後も重要な課題であるため、現状の予算が必要である。				
人 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	環境対策に寄与しており、現状維持が望ましいため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
市単独事業であるため、補助金の交付額及び交付条件等の見直しを検討する。					
部 長	課 長	班 長	担 当 者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	